



中华商标协会与日本弁理士会交流 20 周年寄语

2002 年 11 月中华商标协会（CTA）和日本弁理士会（JPAA）在北京签署《中华商标协会和日本弁理士会备忘录》（以下简称《备忘录》），开启了中日商标领域民间交流的新篇章。20 年来，在中日两国商标同仁的共同努力下，两会积极推动两国政府部门、司法机关、企业和商标代理机构的交流，取得了良好的效果。在此《备忘录》签署 20 周年纪念之际，我谨代表中华商标协会表示衷心的祝贺。

中日是一衣带水的邻邦，两国企业交往频繁，经济贸易不断发展，彼此成为最重要的贸易伙伴。商标作为经济贸易发展的重要制度安排，对两国经济贸易的健康发展意义重大。作为中日两国商标领域的民间组织，20 年来，我们以《备忘录》为基础，在两会历任会长（秘书长）的领导下，通过举办研讨会、培训班和相互访问等形式，开展了多层次、多领域的活动，加深了对彼此国家商标法律制度、商标注册实务和商标保护工作的了解，促进两国企业的商标专用权受到彼此国家的保护，积极推动了两国商标领域民间交流的不断发展，得到了来自政府部门、司法机关、企业和商标代理机构的充分肯定和赞扬。

我相信，我们将在新的 20 年里，投入更多的资源，为推动中日商标领域的民间交流展现新的风采、取得新的成绩、做出新的贡献。

中华商标协会会长  (马 夫)

中華商標協会と日本弁理士会の交流 20 周年に寄せて

2002 年 11 月、中華商標協会（CTA）と日本弁理士会（JPAA）は、北京で「中華商標協会と日本弁理士会の覚書」（以下「覚書」という）に署名し、中国と日本の商標分野における民間交流の新しい時代を切り開きました。これまでの 20 年の間に、中国と日本の商標関係者の皆様のご協力により、両国の政府部門、司法機関、企業、商標代理事務所の交流が積極的に促進され、素晴らしい成果を収めました。私は、中華商標協会を代表して、この覚書締結 20 周年を心からお祝い申し上げます。

中国と日本とは一衣帯水の隣国であり、両国の企業は頻りに交流を行い、経済と貿易の発展も続け、お互いに最も重要な貿易相手国となっています。商標は、経済と貿易を発展させるための重要な制度として、両国間の経済と貿易の健全な発展に非常に重要な意義を持ちます。中国と日本の商標分野の民間組織として、私たちはこれまでの 20 年の間に、「覚書」に基づき、両会の歴代会長（秘書長）による指導のもとで、セミナー、トレーニングコース、相互訪問などを通じて、マルチレベルおよびマルチフィールドの活動により、両国の商標法制度、商標出願実務、商標保護業務に関する理解を深め、お互いの国における両国企業の商標権の保護を促進し、両国間の商標分野での民間交流を積極的に推進してまいりました。これは、政府機関、司法機関、企業、および商標代理事務所などに賞賛されています。

新たな 20 年間に於いて、より多くのリソースを投入し、中国と日本の商標分野における民間交流を促進させるため、新しいシーンを切り開き、新しい業績を達成し、新しい成果を得ることができると確信しています。

中華商標協会会長  (馬 夫)